

|| 地域おこし協力隊 活動報告 ||

たかお新聞

6月号

2025.6.26

[制作]

鬼石 総合支所
地域おこし
協力隊

『東毛と西毛を繋ぐ上毛体験の旅』



地域おこし協力隊となって3年目の夏、畑おこし活動に着手。旬の野菜をテーマに、ほったらかしだった畑に芋を育て、収穫して植える旅を企画。鬼石のゲストハウスと循環型農業体験ツアーを実践しました。

『午前の部』は桐生市の実家の畑で、じゃが芋を掘って、さつま芋の苗を植え、畝づくりからマルチシート張りまで本格的な農作業を習得し、採れたての芋を畑で蒸して食す醍醐味を体験します。

『午後の部』は、収穫した芋をツアー客と共に持ち帰り、ほし農cafeの野菜たっぷりカレーを自炊。移住検討中のご家族や既に移住されて生活している方々も合流し、一緒に調理し会話を交えながら楽しい宴会へ。時が経つのも忘れる笑顔いっぱいあふれるコミュニケーション空間を今後もプロデュースしていきたいと思っています。



地域おこし協力隊クッキングで交流会

県内の地域おこし協力隊員が旬な野菜で交流を深めるイベントを23日、玉村町の重田家住宅で開催。同町の隊員、富沢のぞみさんのcafe unelmaと藤岡市のほし農cafeとの初のコラボ企画。じゃが芋のニョッキ。ズッキーニのポタージュ等、円卓を囲みイタリアン料理を体験。昼食の後は、各隊員による地域おこし活動発表会。その司会の大役を無事に務めることができました。



編集後記

「ほし農」に続き、じゃが芋をテーマに「上毛体験旅」「クッキング交流会」「鬼石のプチマルシェ」と続々とイベント企画を打ち出すほし農cafeエンジンフルスロット、全力投球中!

【編集担当】 星野 貴男